

沿革		
1995年	2月2日	復興目的に地元ボランティアと全国の市民団体が協力して設立。
	2月4日	生活支援（安否確認と話し相手・心のケア・掃除・住宅改善）
	10月5日	移送サービス（通院、引越し運搬）
	11月16日	ふれあい移動サロン
1996年	6月1日	機関紙「ばらボラ」創刊
1998年	10月1日	会員制の導入
1999年	4月1日	事務所移転・御影市場旨水館に拠点を移す
2000年	4月1日より活動利用料金を無料から有料に	
	茶話やかカルチャー教室スタート（高齢者の自立支援と居場所づくり）	
	マンツーマンパソコン教室	
	閉じこもり防止型生きがい対応型ミニデイサービス 神戸市委託事業	
2001年	11月12日	NPO法人格取得
	視覚障がい者のための音声パソコン教室	
2002年	男性の居場所づくり（囲碁・将棋・観て歩こう会）	
2003年	リサイクルショップオープン	
	環境保全啓発活動	
	住民参加型日常生活支援（制度外事業の有償活動）	
2005年	広報誌「東灘ばらボラ」創刊17000部	
	子どもの居場所づくり（子どもカルチャー教室）	
	指定管理者制度 阪神御影駅前自転車駐輪場管理 神戸市委託事業	
	障害のある小学生中学生の学習塾ひまわり（児童福祉法による放課後デイサービス「ひまわり畑」に移行）	
2006年	復興住宅3箇所の交流活動と訪問活動の終了（震災ボランティア活動終了）	
	先導的活性化事業 御影市場旨水館の活性化の委託（終了）	
	地域の美化キャンペーン	
	駐輪場が「子ども110番の家」認定	
	介護予防型デイサービス 神戸市委託事業	
2007年	まちづくり協議会・阪神御影駅前周辺部会参加	
	まちの子育て広場「ふらり」オープン（みんなの居場所「ふらりカフェ」に移行）	
	子どもカルチャー「そろばん」が神戸珠算協会の教場に認定	
2008年	母親の自主サークル「カウマム」（終了）	
	福祉系NPO団体のネットワーク「ひょうごん福祉ネット」結成	
2009年	子育てほっとステーションスタート	
	NPOと行政の協働事業実施	
2010年	不法駐輪指導業務 神戸市委託事業	
	生きがい対応型ミニデイサービス短時間型スタート 神戸市委託事業	
2011年	3月11日 東日本大震災発生 3月12日より支援活動スタート（2013年3月で終了）	
	9月 助け合いネット利用者集いの場「PartⅡ」スタート	
	10月 みんなの居場所「ふらりカフェ」スタート	
2012年	新たに地域貢献できる事業を模索・検討・具体化	
2013年	7月1日 放課後デイサービス「ひまわり畑」スタート	
2014年	5月 茶話やかサロン土曜日 スタート	
2015年	1月 ふれあい昼食会 スタート	
	7月 子育てひろば スタート	
2016年	1月 認定NPOに認証される	
	8月 情報誌「東灘ばらボラ」30,000部に増刷	
	10月 阪神御影ベイビーカフェ連携事業	
2017年	4月 地域拠点型一般介護予防事業、神戸市居場所づくり型一般介護予防事業	
	10月 住民主体訪問サービス事業	